

さいたま市文化財時報

かや
榎りぼーと

第54号

岩槻藩の大名あれこれ

江戸時代、岩槻城を中心に現在のさいたま市岩槻区とその周辺地域を領域とした、岩槻藩がありました。岩槻は、川越とともに江戸から最も近い城として重要視されていました。岩槻藩にはどんな大名がいたのでしょうか。今回は、岩槻藩の大名とゆかりの指定文化財についてご紹介したいと思います。

〔藩〕は、正式には明治時代初期の数年間に用いられた名称ですが、ここでは江戸時代の大名領を表す一般的な通称として用いています。

*以下では、指定名称をゴシック体で記し、国・県と注記してあるもの以外は市指定文化財を示しています。

岩槻藩の大名の特徴

岩槻藩は、表1のとおり高力家から大岡家まで、9家24代の藩主によって統治されていました。いずれも譜代大名で、先祖は戦国時代以来徳川家に従って武功があり、江戸幕府成立後から幕末に至るまで、幕府の最高幹部に就任して幕政に参与し、^{てんぽう}転封(領地替え)する大名が多かったのが特徴です。

表1 岩槻藩主歴代一覧

歴代	藩主名	読みがな	藩主在任期間	石高	岩槻藩主時代に就任した役職
1	高力 清長	こうりき きよなが	1590～1608(一説に1604)	20,000	
2	高力 忠房	こうりき ただふさ	1608(一説に1604)～1619	20,000	奏者番
3	青山 忠俊	あおやま ただとし	1619～1623	45,000	老中
4	阿部 正次	あべ まさつぐ	1624～1638	55,000→56,000→86,000	奏者番→大坂城代
5	阿部 重次	あべ しげつぐ	1638～1651	59,000→69,000→99,000	老中
6	阿部 定高	あべ さだたか	1651～1659	93,000→99,000	
7	阿部 正春	あべ まさはる	1659～1671	115,000	
8	阿部 正邦	あべ まさくに	1671～1681	99,000	
9	板倉 重種	いたくら しげたね	1681～1682	60,000	老中
10	戸田 忠昌	とだ ただまさ	1682～1686	51,000	老中
11	松平 忠周	まつだいら ただちか	1686～1697	48,000	側用人
12	小笠原 長重	おがさわら ながしげ	1697～1710	50,000→60,000	老中
13	小笠原 長熙	おがさわら ながひろ	1710～1711	60,000	
14	永井 直敬	ながい なおひろ	1711	33,000	若年寄
15	永井 尚平	ながい なおひら	1711～1714	33,000	
16	永井 直陳	ながい なおのぶ	1714～1756	33,000	奏者番
17	大岡 忠光	おおおか ただみつ	1756～1760	20,000	側用人
18	大岡 忠喜	おおおか ただよし	1760～1782	20,000	奏者番
19	大岡 忠要	おおおか ただとし	1782～1786	20,000	奏者番
20	大岡 忠烈	おおおか ただやす	1786～1797	20,000	
21	大岡 忠正	おおおか ただまさ	1797～1816	20,000	
22	大岡 忠固	おおおか ただかた	1816～1852	20,000→23,000	奏者番→若年寄
23	大岡 忠恕	おおおか ただゆき	1852～1866	23,000	
24	大岡 忠貫	おおおか ただつら	1866～1871(廃藩置県)	23,000	

※役職用語解説

奏者番 そうじゃばん……大名や旗本が将軍に対面する際、姓名を読み上げ、将軍への進物を披露したり、将軍から下される品々を伝達する役。定員20～30名で、幕府幹部となるための登竜門的な位置付けだった。

側用人 そばようじん……将軍の側近にあって、将軍と老中 ろうじゅうの間を取り次ぐ役。将軍の信任が厚い譜代大名が1名任命された。

大坂城代 おおさかじょうだい …大坂城の守備をするとともに、西国の大名の動向を監視する役目を負った。譜代大名の中から任命。

若年寄 わかとしより……老中に次ぐ幕府内の要職。定員2～6名で、譜代大名から任命され、旗本・御家人に関することを所管した。若年寄を経て老中に進む大名も多かった。

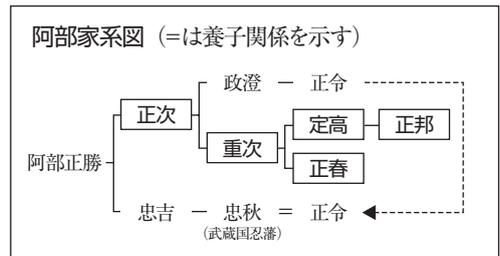
老中……平時における幕府の最高職(臨時職として老中の上位に大老がある)。定員4～5名で譜代大名から任命され、朝廷・公家・大名に関することのほか、外交・財政・参勤交代など幕政の主要業務を所管した。

岩槻藩の石高の謎を解く

江戸時代、土地の生産高は検地によって決定された石高で表されていました。表1に見られるように、岩槻藩の石高は江戸時代をとおして一定ではなく、大名によって異なっていたことがわかります。さらに、同じ大名でも、藩主によって石高に相違が見られます。これは、どんな事情によるのでしょうか。阿部家のケースを例示してみます。

阿部正次

- 1624年 さがみのくに 相模国小田原藩(現在の神奈川県小田原市)から入封。 5万5千石
- 1625年 新田1千石加増。 5万6千石
- 1626年 大坂城代に就任。大坂周辺で3万石加増。 8万6千石
岩槻藩領の支配は長男政澄 まさずみが代行。
- 1628年 政澄死去(36歳)。次男重次を後継者とする。
- 1638年 岩槻藩主を重次に譲る。8万6千石のうち、4万6千石を重次に、1万石を孫正令 まさよし(政澄の子)に分与。
- 1647年 大坂城代のまま死去(79歳)。



阿部重次

- 年未詳 しげなり 三浦重成の養子となり、三浦重次と名乗る。のち重成に実子が生まれて別家。3千石を領す。 3千石
- 1628年 兄政澄死去。父正次の後継者となり、阿部姓に戻る。
- 1635年 将軍徳川家光 いえみつの側近となって幕政に参画する。1万石加増。 1万3千石
- 1638年 父正次から4万6千石を譲られ、岩槻藩主となる。 5万9千石
この年老中に就任。
- 1647年 上野寛永寺内東照宮の修補惣奉行 そうぶさようとなり、1万石加増。 6万9千石
- 1648年 前年死去した父の遺領3万石を継承。 9万9千石
- 1651年 将軍家光の死去 じゆんしに際し、殉死(54歳)。

阿部定高

- 1651年 岩槻藩主となる。弟正春かずさのくにに上総国現在の千葉県内の新田1万6千石(新規増加分)、従弟の正令に6千石を分与。 9万3千石
- 1655年 正令が武蔵国忍藩主おし(現在の埼玉県行田市)で同族の阿部忠秋ただあきの養子となり、先に分与した6千石の返還を受ける。 9万9千石
- 1659年 死去(25歳)。

阿部正春

- 1651年 兄定高から上総国の新田分1万6千石を分与され、大多喜藩おおたき(現在の千葉県大多喜町)主となる。 1万6千石
- 1659年 兄定高が死去。定高の子の正邦が幼少のため、自分の領地も合わせ、岩槻藩主となる。 11万5千石
- 1671年 甥正邦に岩槻藩を譲り、再び大多喜藩に戻る。

阿部正邦

- 1671年 岩槻藩主となる。 9万9千石
- 1681年 丹後国宮津藩たんごのくにみやづ(現在の京都府宮津市)に9万9千石で転封。

このように阿部家の場合、石高は藩主個人の事情(将軍との親疎、就任している役職、藩主就任時の年齢、藩主在任中の功績)などによって、それに見合った規模で変遷していることがわかります。また、領地は岩槻城周辺地域のほか、下野国しもつけのくに(現在の栃木県)、下総国しもうさのくに(現在の千葉県・東京都・埼玉県・茨城県の各一部)、上総国かづさのくに(現在の千葉県)、近江国おうみのくに(現在の滋賀県)、摂津国せつつのくに(現在の大阪府・兵庫県の一部)などに飛地が分散していました。

今に残る関連文化財

現在さいたま市内に残り、岩槻藩の大名に関係した主な文化財としては、初代藩主高力清長の供養塔が浄安寺(岩槻区本町5-11-46)にあります。また、上記で紹介した阿部家の藩主のうち、岩槻藩主阿部家の墓として、阿部正次及び定高の墓が浄国寺(岩槻区加倉1-25-1)で見ることができます。このほか、大岡家の墓として、第9代将軍徳川家重いえしげの側用人として名高い大岡忠光の墓が龍門寺(岩槻区日の出町9-67)にあります。

墓碑以外では、阿部正春が最初に铸造し、後に永井直陳の時代に新調した時の鐘(岩槻区本町6-229-1)が有名です。

歴代藩主の居城となった岩槻城跡(県)(岩槻区太田3丁目)には、大岡家の時代に建築された岩槻城城門(黒門)及び岩槻城裏門が移築されており、周辺の空堀とともに昔日の面影をしのばせています。



▲岩槻藩主阿部家の墓(左側が定高、右側が正次)



▲岩槻城城門(黒門)

福島からこんにちは

～東日本大震災復旧・復興支援派遣職員レポート
(平成26年度・第2回)～

震災の復旧・復興事業は数多くの分野で実施されています。浜通り地方の海岸には、地域の新たな防災機能を確保する観点により、海岸防災林の植樹地帯を設ける予定となっています。また、丘陵地から採取した土砂を、海岸防災林事業をはじめとして、道路の嵩上げや防潮堤建設、ほ場整備などに活用しています。こうした事業実施に先がけて、埋蔵文化財の分布調査や試掘・確認調査を進めているところです。

今年の夏は猛暑の日差しの中での調査となりましたが、引き続き業務にあたってまいります。

(文化財保護課 埋蔵文化財係 主査 妹尾 聡)



▲南相馬市原町区の菅浜原畑遺跡確認調査

TOPICS

●最新出土品展 開催中 見学無料

最新の発掘調査の成果を、出土品等で紹介しています。さいたま市立博物館(9月9日(火)～9月21日(日))での展示を終え、今後は下記の日程で市内を巡回します(会場によって展示資料が若干変わります)。

会場	期間	時間
大宮西部図書館 ギャラリー (☎664-4946)	9月26日(金)～10月5日(日)	9時～20時 9時～18時(土・日・祝) 月曜日休館
片柳コミュニティセンター 1階ロビー(☎686-8666)	10月7日(火)～11月16日(日)	9時～21時30分
中央図書館 (☎871-2100)	11月18日(火)～12月14日(日)	9時～21時(月～金) 9時～18時(土・日・祝) 第1・3月曜日休館

さいたま市内指定無形民俗文化財の公開カレンダー(平成26年10月～平成27年1月)

天候などにより日程が変更することもありますので、詳しくはさいたま市のWebページをご覧ください。見学無料。文化財保護課(☎829-1723)までお問合せください。

名称	日時・場所・内容
田島の獅子舞(市指定)	10月5日(日) 15時～ 田島氷川社(桜区田島4-12-1) 16時～ 四谷稻荷社(南区四谷3-7-34) 3頭の獅子が笛の音にあわせ、太鼓を打ちながら優美に舞います。
南部領辻の獅子舞(市指定)	10月12日(日) 13時～、15時～ 鷲神社(緑区大字南部領辻2914) 別名「竜頭の舞」。三頭の獅子による勇壮な獅子舞です。
岩槻の古式土俵入り 〔釣上地区〕(国指定)	10月19日(日) 13時15分～ 神明社(岩槻区大字釣上220) 子どもたちが古くから伝わる土俵入りの型を披露します。
一山神社冬至祭(市指定)	12月22日(月) 14時～ 一山神社(中央区本町東4-10-14) 一年間の穢れを祓い、新年の無病息災を願う火渡りを行います。
指扇の餅搗き踊り(市指定)	1月1日(祝) 0時～ 五味貝戸自治会館(西区大字指扇291) 曲芸風に杵を扱う「曲搗き」などを披露します。
日進餅つき踊り(市指定)	1月1日(祝) 0時～ 日進神社(北区日進町2-1194) 年明けの鐘とともに始まる餅つき踊りです。

さいたま市文化財時報

榎りぼーと

第54号

平成26年9月30日

《編集・発行》

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
☎048-829-1723 ㊟048-829-1989
<http://www.city.saitama.jp/>